

平成 30 年度 北毛地区小学校体育科授業研究会レポート

期日 平成 30 年 10 月 31 日 (水)

会場 川場村立川場小学校

単 元 名 鬼 遊 び

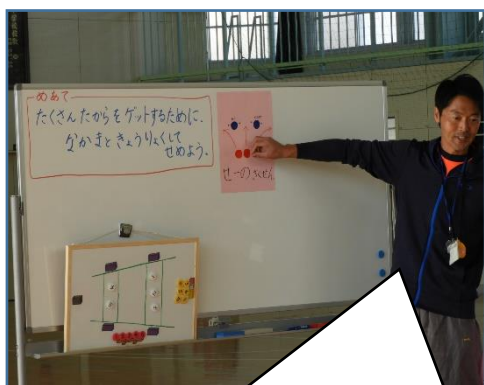
指 導 者 山 岸 敬 幸

今年度の北毛地区授業研究会では、川場村立川場小学校の山岸敬幸先生が授業を提供してくださいました。今回取り上げてくださったのは、1年生の「鬼遊び」。授業は、学習のきまりを守りながら子どもたちが楽しんで活動し、中学年のゴール型ゲームの学習へのつながりが意識されたものでした。

1年生が、『たからとりゲーム』の攻め方を話し合う中で、たくさん点を取るためにペアで連携して動くことや相手のかわし方について考え、意欲的に運動に取り組む姿が印象的でした。



「じゃんけん通り抜け」をして、相手をおかわしたりタグをすばやく取ったりする活動をし、主運動に向けてのウォーミングアップを行います。

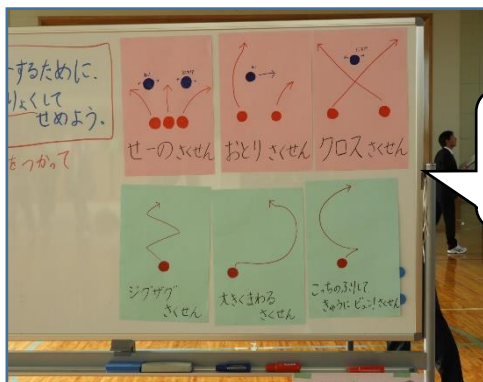


本時のめあては「たからをたくさんゲットするために、なかまときょうりよくしてせめよう」です。

そのためには、どんな協力ができるかを確認すると、子どもたちから前時に考えた攻め方（クロス作戦やジグザグ作戦）が出てきました。



大好きな体育の授業です。先生の話をも真剣に聞いて今日の流れを確認します。



子どもたちが発表した攻め方を、教師がホワイトボードに図示しながら、みんなで確認しました。

実際に「たからとりゲーム」を行いました。3チームが攻撃→守備→待機の順でゲームに取り組みました。ベンチに座っている待機チームは、次の攻撃の番に備えて、他チームのよい攻め方を見つけたり、作戦を考えたりしています。



一巡したら、一度みんなを集めて話し合いを行いました。前半でよくできた攻め方を発表し合った後に、チーム毎に相談をしました。

子どもたちは、小型のホワイトボードを使って視覚的に分かりやすくし、話し合いを行いました。



今日の対戦結果を確認して、仲間と協力してたくさん点数を取ることができたことを振り返りました。

まだまだゲームをしたいと思う子どもたちと次回も仲間と協力しながらゲームを確認して授業が終了しました。

この授業では、低学年から仲間と協力して助け合い、体を動かすことの楽しさを味わい、意欲的に体を動かすには大変有効であったと考えられます。さらには、中学年のゴール型ゲームにつながるものでした。先生の分かりやすい指示、よく練られた場の設定で子どもたちが生き生きと活動する姿が印象的な授業でした。授業を提供してくださった山岸先生、川場村立川場小学校の先生方をはじめ、研究会開催にご尽力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責 沼田市立川田小学校 阿部貞治)